



## 自衛隊車両がサーキットに モーターファンフェスタ

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・武田恭一 等空佐）は4月23日（日）、富士スピードウェイ（駿東郡小山町）で行われたモーターファンフェスタ2023で広報活動を行った。

これは全国から車好きが集まるイベントで、ドリフトエキシビジョンマッチ、各社の新車試乗会、メーカーやショップによる展示販売などが行われた。

メイン会場に隣接する駐車場に自衛隊ブースが設けられ、板妻駐屯地（御殿場市）の軽装甲機動車、高機動車、偵察用オートバイ、滝ヶ原駐屯地（同市）の96式装甲車、軽装甲機動車、小型トラック、駒門駐屯地（同市）の16式機動戦闘車、偵察警戒車、小型トラック、静岡地本の中型トラックが一堂に会した。

会場は多くの車好きや家族連れで賑わい、写真を撮ったり隊員から自衛隊車両ならではのポイントを聞きながら車両に見入っていた。

また、静岡地本は迷彩服の試着体験や隊員が身に付けるリュックなどの装備品、自衛隊の活動を紹介するパネル展示などを行い、人気を集めた。

イベント後半には、サーキットコースに国内外の名車・旧車が並びスーパードリフトウォークが開催され、自衛隊からも軽装甲機動車、高機動車、小型トラック、偵察用オートバイが参加した。富士学校音楽隊が華やかな音楽演奏でオープニングを飾り、来場者は自衛隊車両がサーキットを走る貴重な姿や、コース上に展示されている様子を熱心に写真に収めていた。

静岡地本は、今後もさまざまなイベントに参加し、多くの人に自衛隊を知ってもらえるよう広報活動に努めていく。



スーパーグリッドウォーク



MCV展示

## 薬科大生が自衛隊の薬剤師「薬剤官」を学ぶ

自衛隊静岡地方協力本部静岡募集案内所（所長・伊藤通孝 二等陸尉）は5月9日（火）、自衛隊富士病院（駿東郡小山町）の協力を得て、薬剤官に関心を持つ学生の職場見学と懇談会を行った。

薬剤官とは自衛隊に所属する薬剤師のことで、調剤や服薬指導を行い自衛隊員の健康管理全般を担っているほか、災害派遣や国際緊急援助活動等において医療支援を行うといった任務を持っている。

同病院は自衛隊員だけでなく一般の診療も行っており、内科、外科、整形外科、歯科に加え、放射線検査、臨床検査も実施している。院内には薬局が完備されており、3人の薬剤官が約300種類の薬を管理している。

同病院で薬剤官についての説明や懇談を行うのは初めて。当日は薬科大学5年生の中田慶丞さんが、薬剤官の門内豊3等陸佐などと懇談し、職場見学を行った。

懇談では、門内3佐から薬剤官としての仕事や幹部候補生学校に入校してから現在までの経験について話を聞いたほか、自衛官として訓練を受け、迷彩服の上に白衣を着て仕事をしている薬剤官と一般の薬剤師の違いについても説明を受けた。

その後、多くの薬や専門書の並んだ薬剤官の勤務場所を見学し、中田さんは自衛隊で働く薬剤官の仕事に理解を深めていた。また、受験に向けての対策や勉強方法なども質問し、「直接話を聞いて、疑問や不安が解消できた。実際の勤務場所も見学できて、さらに興味が深まった」と今後の参考になった様子だった。

静岡所は、今後もこのような機会を活用し、志願を考えている学生を積極的にサポートしていく。



懇談



職場見学

## 志願者確保に向け意見交換 都県募集連絡会議

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・武田恭一 等空佐）は5月17日（水）にホテルコンコルド浜松、18日（木）に航空自衛隊浜松基地（ともに浜松市）で行われた令和5年度都県募集連絡会議に協力した。

これは、関東・甲信越と静岡の1都10県を担当する陸上自衛隊東部方面隊が主催し、自衛官募集等の現況について認識共有するとともに、今年度の取り組みについて意見交換を行うもの。自衛隊のほか、自衛官募集に関わる各都県の職員が参加した。

会議では、各都県の地方協力本部と自治体がそれぞれの取り組みを発表し、さらなる連携強化と志願者確保に向けた改善策が話し合われた。また、川勝平太静岡県知事と東部方面総監・富樫勇一陸将があいさつし、自衛隊の活動の重要性や人材確保への理解促進を訴えた。

翌日は、希望者が航空自衛隊浜松基地と浜松広報館工アパークを見学し、隊員食堂での食事や陸上自衛隊のヘリコプター体験搭乗を行った。

基地内にある格納庫では、パイロット学生の教育に使用されるT-4中等練習機とT-1400輸送機・救難機等基本操縦練習機を隊員の説明を聞きながら見学し、参加者は「飛行する時怖くないですか」「前と後ろの座席にある操縦桿は一緒に動くんですか」と興味深く質問していた。

また、陸上自衛隊のUH-1ヘリコプターに体験搭乗し、浜松市上空を飛行しながら自衛隊の装備品の性能や自衛官の技術を体感し、理解を深めていた。

静岡地本は、今後も部隊や自治体と連携し、志願者確保に向け邁進していく。



連絡会議



T-400 見学